

選考を終えて (表彰委員より)

委員長

名古屋工業大学名誉教授

山本 幸司 やまもと こうし

昨年よりも応募件数が減ったことは残念ですが、活動内容が多様化しているという印象を強く持ちました。なかでも書類選考をパスされ、現地調査の対象となった8件の関係者の熱意に感銘を受けました。応募頂いた各団体のますますのご活躍を祈念致します。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

受賞された活動はそれぞれ地域活性化や環境保全に貢献する優れたものである。特に大賞が授与された活動は、廃線という負の遺産活用により地域活性化に貢献し、持続的発展可能性が見込まれる先駆的活動と評価される。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

今回いくつかの活動団体を現地に訪ねた。地域住民と学校、地域住民と観光客、地域住民と企業など、地域づくりは関係する人たちが、地域固有の自然や歴史を楽しみながら学び、訪れる人を「おもてなし」する姿が印象に残った。



委員

中日新聞社事業局長

山口 宏昭 やまぐち ひろあき

いくつかの活動団体を訪ねたが、規模の大小にかかわらずどれも熱意が伝わる活動であったし必要不可欠なものであった。年配者がこれからの未来を担う若者に伝承していく活動が多い中、その若者が発信して自らの手で地域をつくりあげようとするものがあつたことをうれしく思い、また応援していきたい。

委員

名古屋大学大学院教授

森川 高行 もりかわ たかゆき

南海トラフ巨大地震への対策が喫緊となっている中、防災系の応募が減ってしまったのは、津波避難などの訓練が当たり前になってしまったからだと思いたい。一般論としては、地域に根付いて息の長い活動を行っていくために、活動母体の後継者も育てる取り組みに期待したい。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

菅原 章文 すがわら あきふみ

各団体とも、メンバーの方々の方が明るくやりがいを持って取り組まれ、かつその活動が外部の人々にも浸透していることに、未来への可能性を強く感じました。

今後とも各団体が継続的に活動され、より良い地域づくりに貢献されますことを祈念いたします。

委員

中部地方整備局長

梅山 和成 うめやま かずしげ

今回、応募いただきました活動では、中学校、大学、NPO、企業などの多様な主体による、防災、環境保護、地域づくりといった地域に応じた活発な活動が見受けられました。また、関連団体との協同や次世代に継承されている活動が数多くあり、「中部の未来」を担う各団体の活動がますます発展されることを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人
中部経済連合会